



当院で可能なレーザー治療

◆網膜裂孔に対するレーザー

網膜に裂孔（あな）が開く病気があります。視界の中に黒い影が見える（飛蚊症）といった症状で自覚することがあります。放置すると「**網膜剥離**」になり、失明に至る重篤な病気です。それを予防するために必要な治療です。

◆網膜虚血に対するレーザー

糖尿病網膜症や**網膜静脈閉塞症**といった血流の循環障害をベースに起こる変化に対して行うレーザー治療になります。

◆後発白内障用レーザー

白内障術後に生じる視力低下の一つが**後発白内障**になります。濁った膜が原因ですが、その膜を切開して見えるようにします。

◆閉塞隅角に対するレーザー

閉塞隅角緑内障に対するレーザーですが、白内障手術が適応でない時の治療です。

CL使用中の花粉症点眼

コンタクトレンズ（CL）をお使いの方が花粉症になった場合の点眼薬は何があるのでしょうか。

CL装用中に点眼しても大丈夫な点眼薬は基本的には**抗アレルギー点眼**と言われるものです。それで症状がコントロールできていれば問題ありません。

でも本当にかゆい時期は効果としては弱いです。その場合は**ステロイド点眼**の使用が必要になります。他科で一緒に薬をもらう場合は通常だとステロイド点眼は処方してくれません。副作用の問題があり、眼科での処方を勧められるからです。

ステロイド点眼はよく効いて痒みをとってくれますが、CLを使用しながら点眼していくことが難しいです。ステロイドの効果に免疫抑制がありますが、裏を返せば、感染症に対しては免疫を抑制してしまうため弱くなります。**感染症リスク**からCL



を使用しながら点眼をするのが不向きになるのです。CL装用中の点眼使用は相談してください。